

2018年3月20日

J A三井リース株式会社  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
三井住友ファイナンス&リース株式会社  
NECキャピタルソリューション株式会社  
未来創生ファンド（運営者：スパークス・グループ株式会社）  
日本水素ステーションネットワーク合同会社

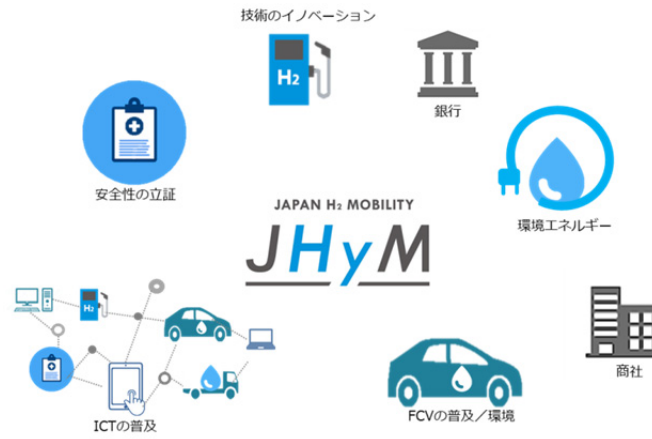
## 日本水素ステーションネットワーク合同会社への資本参加の件

J A三井リース株式会社（社長：古谷 周三）、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二）、三井住友ファイナンス&リース株式会社（社長：橘 正喜）、NECキャピタルソリューション株式会社（社長：今関 智雄）、未来創生ファンド（運営者：スパークス・グループ株式会社（社長：阿部修平））、の5社は、水素ステーションネットワーク合同会社（社長：菅原英喜、以下「J H y M（ジェイハイム）」：Japan H2 Mobility）の資本参加に関する契約を締結しました。

J H y Mは、我が国の「水素基本戦略」（2017年12月26日付再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議決定）における、水素ステーション整備の推進役として、2018年2月に自動車メーカー、インフラ事業者、金融投資家等11社（※）で設立され、水素ステーションの日本全国への戦略的な整備及び効率的な運営への貢献を主な事業内容としています。

今回、資本参加する5社は、次世代自動車・燃料電池自動車（以下、「FCV」）や環境エネルギーの普及、水素ステーションに係るICTの活用、安全性の立証、技術のイノベーション及び購買方法の多様性など、各社が有する強みをJ H y Mに結集し社会に貢献していくことを目的に参画しました。

本件によりJ H y Mを中心とした更に堅固なコンソーシアムが形成されたことを受け、J H y Mは、その具体的な取組みである、水素ステーションの戦略的な整備及び事業としての自立化支援並びにFCVユーザーの利便性向上を通じ、FCVの普及拡大という好循環を実現し、水素モビリティの分野の拡大による持続可能なエネルギー社会の実現に向け、より一層取り組んでいきます。



<JHyM に集結する各社が有する強み>

※トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、本田技研工業株式会社、JXTGエネルギー株式会社、出光興産株式会社、岩谷産業株式会社、東京ガス株式会社、東邦ガス株式会社、日本エア・リキード株式会社、豊田通商株式会社、株式会社日本政策投資銀行

以上